



- 対象領域
 - 農業・食品ビジネス (機能性食品)
 - ヘルスケア
 - 医療関連
 - 新規素材
 - 環境・グリーンテック・エネルギー
- 活動テーマ
 - 京都大学の知・文化・研究成果 (シーズ) を題材に、最先端技術に基づくリアルな事業化検討のトレーニングと実践を行います。
 - 各グループの提案は、ベンチャーキャピタリストに提案/実際に投資判断をしていただきます。
- 対象者
 - 企業内で新規事業の事業推進担当およびその候補 (イントラプレナー)
 - 起業を検討している者 (アントレプレナー)書類選考・面接による選抜を行います。

2026年度秋期スケジュール

全7回	日時	会場*	プログラム*
第1回	10月24日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Introduction ■ Team Up ■ 未来洞察 ■ テーマ検討
第2回	11月7日 (土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ 機会発見 ■ シナリオ・ライティング
第3回 (土日2日間)	11月14日 (土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ アイディエーション (課題 × シーズ) ■ シーズ探索 ■ Team Building
	11月15日 (日) 9:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	
第4回	12月5日 (土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Prototyping講義 ■ Rapid Prototyping実習
第5回	12月19日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ ビジネスモデル構築 ■ Lean Canvas講義 ■ チーム作業 ■ メンタリング
第6回	1月9日 (土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ プレゼンテーション ■ メンタリング

第7回 1月23日 (土) 13:00-17:00 京都大学国際科学イノベーション棟 ■ Demo Day

※第3回に事業アイデアのピッチを行い、チームビルディングを行います。ピッチではご自身のアイデアをアピールすることができます。

第4回以降は第3回で形成されたチームで事業仮説を作成し進化させていきます。

※宿泊費等は自己負担です。

※プログラム内容は状況により変更となる可能性があります。

■ 募集人数	25名(最少催行人数 16名)	■ 申込フォーム	https://forms.gle/gDVg7dxGYeWrCQfUA
■ 提出書類	作文(申込フォーム参照) ※面接、履歴書ををお願いする場合があります	■ 申込締切	2026年 10月4日(日) 17時00分 (申し込み多数の場合、期日より早く締め切る可能性があります。)
■ 参加費用	25万円(教材費含む・消費税別)、 京都大学教職員、学生(京大以外も含む)無料	■ 発表	10月9日(金) 17時までに合格者のみ 通知予定



本研修において製作されたプレゼン資料その他の成果物の著作権その他一切の知的財産権は、主催者の意向に従います。
また参加企業及び受講生は成果物に関する著作権者人格権を行使しないものとします。



京都大学 成長戦略本部 統括事業部 エコシステム構築領域
イノベーション マネジメント サイエンス(IMS)部

ims@saci.kyoto-u.ac.jp (お問い合わせ先)

京都大学

新規事業推進者のための

技術イノベーション 事業化コース 実践ワークショップ

Open Technology
Innovation Course

共催：京都大学 成長戦略本部 統括事業部 エコシステム構築領域
イノベーション マネジメント サイエンス(IMS)部
京都大学イノベーションキャピタル株式会社
後援：関西スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)

本コースの特色

Open Technology Innovation Course

講師、メンターの紹介

1

実績ある仮説創出・検証プロセス

着眼がユニークで、現状の制約条件にとらわれない大胆なアイデアを創出するための実績あるプロセスを適用します。京都大学イノベーションキャピタル株式会社の協力により、あなたのビジネスアイデアと技術シーズのマッチングを行い、より広範な事業の可能性を検証することが可能です。経験豊富な講師によるメンタリングにより、事業仮説の解像度を上げていきます。



トレンド解析



ビジネス仮説



仮説検証



事業化

＞ 未来年表

＞ TurningPoint分析

＞ Ideation

＞ EnablingTechnology
探索

＞ Prototyping

＞ LeanCanvas

＞ DemoDay

- ・事業機会を大きく捉える
- ・将来の社会を展望する

- ・ビジネスの構想（発散）
- ・ビジネスを可能にする技術シーズの探索

- ・ユーザー視点での検証
- ・ビデオ作製等プロタイプおよびリーンキャンパス活用
- ・専門の研究者による知見の活用

- ・リアルかつシビアなビジネス化の追求
- ・実際の事業化に向けたフォロー開始

2

各種実践手法の体得

専門家のファシリテーションにより、未来年表、リーン・キャンパス、プロトタイピング等、すぐに・繰り返し活用できるビジネス仮説創出手法・顧客ニーズ検証手法を体得します。生成AIを活用したプロトタイピングなど、最新の手法を取り入れた内容となっています。

IMPACT



FEASIBILITY

- 1 未来年表
- 2 機会発見
- 3 アイディエーション
- 4 テクノロジー探索・マッチング
- 5 プロトタイピング
- 6 リーンキャンパス
- 7 デモティでのエコシステムへのプラグイン

3

豊富な起業実績

これまで30社を超える実際の起業実績があり、様々な領域で新たな価値を創造しています。

外部ベンチャーキャピタルからの本格的な資金調達に成功した企業、大企業に会社を売却してEXITに成功した企業を数多く輩出してきています。また、経済産業省J-Startupへの選定、総務省・NICT主催「NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days 起業家万博」における総務大臣賞（最優秀賞）受賞、国連ITU特別賞受賞など、数多くの受賞実績を誇っています。こうした起業の実績は、マスメディアにも取り上げられています（日本経済新聞、日経トレンディなど）。

4

異業種ネットワーク

終了後もこのプログラムで培われた人的ネットワークは貴重なつながりとして生きていきます。これまでハイテク、通信、金融、製造業、製薬等、数十社の民間企業からの参加があり、貴重な異業種交流の機会として活用いただいています。

5

京都大学による継続サポート

京都大学イノベーションキャピタル株式会社との連携
受講生の起業には、京大のインキュベーション施設の利用やギャップファンド等各種助成金へのアクセスをサポートします。
また、要件を満たせば、京大ベンチャーファンド等の投資対象になることも可能です。

木谷 哲夫

きたに てつお

京都大学成長戦略本部特任教授／京都先端科学大学教授

京都先端科学大学教授、京都大学特任教授。テクノロジー商業化の手法、起業家教育手法、エコシステムについての研究に従事。株式会社DeNAの社外取締役、スタートアップ企業の顧問を務める。現職以前にはマッキンゼー・アンド・カンパニーにて経営コンサルティング業務に従事。日本興業銀行およびメリル・リンチ・キャピタルマーケット（NY）、アリックス・パートナーズを経て現職。イノベーションとアントレプレナーシップに関する著述には、『イノベーション全史』（2024中央経済社2024）、「成功はすべてコンセプトから始まる」（ダイヤモンド社 2012）、「ケースで学ぶ 実戦・起業塾」（日本経済新聞出版社、2010）、「独裁力」（ディスカヴァー・エデュケーション 2014）、などがある。東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了（MA）、ペンシルバニア大学MBA。

松行 輝昌

まつゆき てるまさ

京都大学成長戦略本部特任准教授

横浜国立大学、大阪大学、事業構想大学院大学を経て2025年4月より京都大学で教鞭をとる。イノベーションおよびアントレプレナーシップを専門分野とし、技術系イノベーションのプロセス、新価値創造の原理、ソーシアルイノベーションにおけるパートナーシップに関する研究などを行っている。また、アントレプレナーシップ教育と大学発/学生スタートアップ支援に従事。主な著書に『ソーシアルイノベーション』（共著、丸善出版、2011年）、「地域社会圏主義」（共著、LIXIL出版、2012年）がある。日本地域学会学会員、大阪大学総長顕彰、大阪大学員などを受賞。

竹丸 淳志

たけまる あつし

京都大学成長戦略本部特任准教授／インクルージョン・ジャパン株式会社 取締役
マッキンゼー&カンパニーにて主に製造業の新規事業開発・全社変革・海外地点支援などの陣頭指揮ののち、ESG領域を中心にアーリーステージスタートアップに投資する独立系ベンチャーキャピタル、インクルージョン・ジャパンに取締役ジェネラルパートナーとして参画。投資案件の発掘から評価、投資後の二人三脚での成長支援までを包括的に担当。近年は日本で先駆けとなるサーチファンド（事業承継型起業）特化ファンドの投資も手掛ける。東京大学経済学部経営学科卒業、マサチューセッツ工科大学（MIT） スローンスクールオブマネジメント（MBA）修了。九州大学発炭素ティープテックスタートアップである株式会社JCCL 社外取締役。

大林 正佳

おおばやし のぶひろ

京都大学イノベーションキャピタル株式会社投資部

信州大学工学系研究科を修了後、東洋紡（株）で用途開発と品質管理業務に従事。市場調査、ライセンシ化、ノウハウ提供などを行うことで、自社製品の採用・取扱い量の拡大に貢献。開発品の量産化にあたり、製造・品質管理の工程を確立。工場では製造ラインを担当し、製造条件・品質の管理を行う。2017年1月より京都大学イノベーションキャピタル（株）にて主に素材系の投資を担当。

北村 量太

きたむら りょうた

STUDY SWITCH株式会社代表取締役

京都大学工学部工業化学科卒。アクセンチュア株式会社にてITコンサルティング業務に従事。2006年にキャリア教育ウェブサイト「あしたね」を立ち上げ、2007年に学校ネット株式会社を設立。全国の小・中・高等学校向けにキャリア教育サービスを展開し、東京書籍株式会社との事業提携を経て同事業を譲渡。2017年にはSTUDY SWITCH株式会社を創業し、学習アプリ・デジタル教材の開発、運営に取り組む。スマートフォンアプリの累計ダウンロード数は5,000万を超え、近年は生成AIを活用した新しい学習支援機能の開発にも注力している。

寺田 彼日

てらだ あに

Co-founder and CEO AironWorks

2014年、片道切符でイスラエルに渡り、現地本社のスタートアップAniwoを創業。以後、多国籍企業とのオープンイノベーションを通じて、事業と技術の両現場を横断してきた。その知見をもとに、イスラエル企業に特化したVCファンド Atlacleを設立しイスラエルのAIスタートアップへの投資を行う。2021年にはイスラエルでのR&Dを通じて開発した、AIサイバーセキュリティプラットフォームを提供するAironWorksを創業。AI時代の高度化する攻撃に対し、訓練・教育・防御を一体化した実践的な対策を可能にし、北米・欧州・日本・APAC 20カ国以上でサービス展開を進める。京都大学 経営管理大学院修了（MBA）、大阪大学 経済学部卒

長野 草太

ながの そうた

Abies Ventures株式会社 代表取締役 / マネージング ディレクター

ユニコンベンチャーの経営およびクロスボーダーIPO、PE投資や外資系証券会社での経験を有する。京都大学発EVベンチャーGLM株式会社にて取締役CFOを務め、日本のベンチャーキャピタルや事業会社に加え、中東政府系ファンドやアジアのファミリーオフィスといった国外投資家からの大規模資金調達を主導しクロスボーダーIPOに導いた。パリモーターショーでの新車発表や海外エンジニアリングプロジェクト等同社の国際展開と認知度向上に貢献。以前はドイツ証券のキャピタルマーケット部門、日本証券アナリスト協会認定アナリスト。

坊垣 佳奈

ぼうがき かな

株式会社マクアケ 共同創業者 / Bogaki Studio 代表 / 品川女子学院 顧問

2006年同志社大学文学部心理学科を卒業後、サイバーエージェントに入社。サイバー・パスのほかゲーム子会社2社の経営経験を経て、2013年マクアケの立ち上げに共同創業者・取締役として参画。アトラシイものや体験の応援購入サービス「Makuake」の事業拡大に従事しながら、全国各地での講演や金融機関・自治体との連携などを通じた地方創生にも尽力。その経験から、現在は地方創生に取り組む複数社において社外取組顧問としてのサポートを兼任。女性を中心とした多様なライフスタイルを望む若い世代の活躍推進を実現させた経験から、HR/カルチャー/教育領域でのアドバイザーも複数社等において担当している。

山下 麻亜子

やました まあこ

京都大学法学部を卒業後、2011年にマッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。マネージャーとして主に消費財・小売業の全社戦略、新規事業立ち上げ、オペレーション改善を主導。2020年に産直EC「食べチョク」を運営する株式会社ビビッドガーデンに入社。取締役執行役員COOとして事業戦略・採用・組織設計など全社横断的に管掌。現在はフリーランス

古我 知史

こが さとし

ベンチャーキャピタリスト、京都大学成長戦略本部フェロー

ウィルキャピタルマネジメント株式会社代表取締役、アリストテレスパートナーズ株式会社代表取締役、県立広島大学大学院客員教授。早大政経卒。シティバンク、マッキンゼーなどを経て、独立系ベンチャーキャピタリストとして累計80社を超えるベンチャー投資と事業育成現場に参画。アニコムホールディングス、卑弥呼、イオンペット、セルム、TOO、インバウンドプラットフォームなどの取締役を歴任・現任。九州大学大学院客員教授、龍谷大学客員教授、衛星放送協会外部理事、FBNジャパン理事長、大阪府市統合本部特別参画、日本生物科学研究所評議員など歴任。著書に『リーダーシップ螺旋』（晃洋書房）、「着眼の技法」、「もう終わっている会社」（ディスカバー21）、「戦略の断崖」（英治出版）、「アリストテレスの言葉」（東洋経済新報社）など。

新村 和太

しんむら かずひろ

京都大学成長戦略本部特任准教授

京都大学経済学部経営学科卒業、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了（MBA）。創業期ベンチャーにおける経営理念や全社戦略の策定、資金調達、組織構築を強みとする。これまでに取締役として経営するベンチャーを3度Exitした経験を持つ（NTTグループ、KDDIグループなどへ売却）。また、文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクト「トビテ！留学JAPAN」では、立ち上げ期にプロジェクトオフィサーを務めた。現在では上場企業の社外取締役など数社で取締役を務めながら、複数の大学でアントレプレナーシップ教育に携わっている。経済同友会会員。令和元年、紺綬褒章を受章

奥田 さら

おくた さら

京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資部 マネジャー

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、金融、マーケティング、テックといった異なるフィールドにて業界横断的な視点で戦略立案から実装までリード。投資銀行で資金調達業務に携わった後、情報誌ではメーカー/インサイダーリサーチャーとして消費者インサイトの発掘、戦略立案、新規事業開発を担当。続いてMeta APAC本社にて、ヘルスケア・ウェルネス業界を中心にSMEのDX推進と市場拡大に従事。2025年9月より京都大学イノベーションキャピタル（株）にてアクセラレーションを担当。

菅野 流飛

かんの りゅうひ

京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資部 シニア・マネジャー

連続起業家。東京工業大学にてライフサイエンス分野の研究に従事した後、ベンチャー企業と大手企業を渡り歩き事業開発・事業部長などを歴任。高専生向けのキャリア教育を推進する（株）高専キャリア教育研究所を創設し、数千名の高専生/高専卒業生のキャリア開発を推進。売却先となった東京工業大学関連ベンチャーキャピタルにて新ファンド組成に携わり、ライフサイエンス分野の投資実行を複数リード。日本のスタートアップシーンを起業家・投資家双方の視点で経験した結果、「合理的に勝てるスタートアップの立ち上げ手法」が圧倒的に欠けていることに気づき、アクセラレータとして起業家へのメンター活動を開始。2023年9月より京都大学イノベーションキャピタル（株）にてアクセラレーションリードを担当。

鍛 裕介

くわ ゆうすけ

株式会社GoldenHarvest 代表取締役

大阪大学基礎工学部卒。ROXX創業初期にPM・メーカーとしてSaaSを年間10億円規模へ牽引後、2024年に生命産業のR&Dベンチャー・株式会社GoldenHarvestを創業。食品残渣を飼料に変えるアメリカミズアブ（BSF）の種苗供給インフラ事業を構想し、農林水産省SBIRに採択。東京大学・霜田研究室とミズアブ自動産卵ユニット「SOJ」を共同開発中。爬虫類向けAIヘルスケア事業も展開する。東京都「TOKYO Re:STARTER」ではアクセラプログラムの運営責任者を務め、40社超の新規事業・起業家を支援。

寺本 昌弘

てらもと まさひろ

Vareal株式会社代表取締役

京都大学工学部卒。大学卒業直後にVareal（バリアル）株式会社を創業・設立（現任）。IT系から教育、建設、ヘルスケア系企業まで幅広くAIやシステム開発の支援を行う。また並行してバイオテック系やフィンテック系のスタートアップの取締役やベトナム子会社の創業者兼会長を歴任。京大卒の起業家組織である収零会の幹事長を務め、国内外のスタートアップへのエンジェル投資や起業を後押しすべくメンターとしても活動している。

平川 敦士

ひらかわ あつし

Pavilion Capital Japan 代表取締役

監査法人および外資系戦略コンサルティングファームを経て、ベンチャーキャピタル業界に転身。コンサルティング時代は戦略グループに所属し、財務戦略やM&Aを中心とした大手企業向けプロジェクトに多数従事。その後、ベンチャーキャピタルにおいては、創業初期から新サービスに特化した企業の育成・支援に注力し、ハンズオン型の投資スタイルで活動。事業会社との広範なネットワークを活かし、M&A実績も豊富。現在は、シンガポール政府系ファンドの日本代表取締役を務めるほか、国内外の投資会社や京大iCAPなどのアドバイザー、エンジェル投資家としても活躍中。税理士資格保有。

山崎 祐一郎

やまざき ゆういちろう

株式会社マイクロナティ代表取締役社長

ドイツ証券投資銀行部門を経て、AIスタートアップを創業。2011年に株式会社メタップスの創業期に参画し、スマートフォンシフトを捉えたアプリ収益化プラットフォーム事業を立ち上げる。その後、海外8か国への事業展開やグローバルM&Aを推進し、2015年には東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場）へのIPOを実現。FinTech事業の立ち上げを主導するとともに、2020年にはQRコード決済サービス「pring」のGoogleへのパイアウトを牽引。2023年にはMBOによる株式非公開化を実施。2025年、株式会社マイクロナティを設立し、AI・M&A・事業承継を融合した独自のロールアップ戦略のもと、中小ソフトウェア企業に特化した事業承継プラットフォームを展開。University of California Berkeley 卒業 京都大学経営管理大学院 修了

※講師・メンターは状況により一部変更の可能性があります。